

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号
**0225
(22)7711**
広報専用FAX
**0225
(22)7809**

教員養成ガイダンス開催 現場の先生がアドバイス



教育職を希望する学生が現役の先生から話を聞く「教員養成ガイダンス」が開催された。写真。

9月17日には人間学部人間教育学科の学生を対象とした「保育士・教員養成ガイダンス」が、19日には全学部の1・2年

次生を対象とした「中・高教員志望者対象 教員養成ガイダンス」が実施された。

石巻市、登米市の保育園、小・中・高校の各種教員資格を取得するための各カリキュラムが編成されており、100人を超える学生が教職課程を履修している。教員志望

の学生たちが教育現場の日常を知る機会を設けようと、このガイダンスが企画された。

「保育士・教員養成ガイダンス」では、石巻市内の保育園に勤務する保育士と小学校教諭が講師を担当。採用試験の難しさや職務の責任について話したほか、学生が抱えている不安や疑問にアドバイスを送った。

海洋生物の神秘探る

生物生産工学科
臨海実習

理工学部生物生産工学科の「臨海実習」が、夏期休暇を利用して実施された。

【臨海実習Ⅰ】

8月19日から21日まで、山形県遊佐町で2年次生と4年次生合わせて31人が参加して行われた。

「海の生物の神秘に迫る」をテーマに、学生たちはマガキの発生実験、一関第二高は「講師の先生方が共通して強調していたのが文章力とコミュニケーション能力が大切ということでした。人間学部での学びや、演習などを通じて、これらの力をつけていきたいと思っています。一期生としてしっかりと学び、将来に役立ていきたいです」と話した。

【臨海実習Ⅱ】

9月3日から5日まで、3・4年次生38人が参加し、山形県鶴岡市沿岸部で施設見学や生物採集などを行った。



初日は加茂水族館で施設見学とクラゲ学習会を実施。2日目は山形県水産試験場と栽培漁業センターを見学した後、由良港、白山島周辺で海洋観測とネクトン(遊泳生物)やプランクトン、岩礁域・砂浜域の生物を採集する野外実習を行った。写真。

最終日には採取した生物試料の分析とデータのまとめを行い、充実した3日間を締めくくった。

放送50回に

キャンパスライブ

昨年8月に開局した本学のエリアワンセグ放送局「いしのまきワンセグ」が制作する「キャンパスライブ」が10月18日に放送50回を迎える。

節目を控え、多くの方がゲストとして出演している。第47回(9月27日)は制作する「キャンパスライブ」が10月18日に放送50回を迎える。



VR体験の様子

NHK仙台放送局主催「公開復興サポート 明日へ in 石巻」

NHK仙台放送局が主催する「公開復興サポート 明日へ in 石巻」が10月20日(日)、10時から17時まで、本学キャンパスで行われる。

この催しは番組やイベントを集中開催し、被災地に癒やしと笑顔を届けようと、NHKが実施しているもので、当日はおなじみのテレビ・ラジオ番組が公開収録される。

また、「趣味の園芸」や「さいの時間」出演の藤田智さんによるトークショーや人気キャラクター「ワンワン」のステージショーなど、公開イベントも開催。本学の教員・学生らも4つの企画を催し、来場者を楽しませる。入場無料。

- ・趣味の園芸 やさいの時間(Eテレ)
- ・将棋フォーカス(Eテレ)
- ・東北発☆未来塾(Eテレ)
- ・ミチコ靖子窈の女子会(BSプレミアム・FM)
- ・昭和歌謡ショー(ラジオ第一)
- ・ラジオ深夜便(ラジオ第一)
- ・くるり電波(FM)
- ・東北発☆未来食堂

※公開収録番組の観覧募集

本学キャンパスで 公開収録や催し

今月20日



展示

益満環経営学部准教授、高橋智理工学部准教授らが作製した「3Dプリンタを活用した石巻市沿岸部の復元立体模型」を4号館1階に展示。

経営学部・山崎泰央ゼミの学生たちが、子供の遊び場を創出。風船アート、粘土作りなどを予定。

経営学部 竹中ゼミが協力 仮設スポーツ大会

東日本大震災で被災し仮設住宅に住む人たちが同じ土の親睦を目的とした「第2回仮設住宅対抗スポーツ大会」(石巻仮設住宅自治連合推進会主催)が9月29日、本学陸上競技場で開催された。開会式で坂田隆学長が来賓としてあいさつ。また経営学部・竹中徹ゼミの学生ら9人が運営スタッフとして参加し、競技の準備や審判などを担当した。大会には仮設住宅16団地の住民約200人が参加。大玉転がしや玉入れそのお手伝いができたことをうれしく思います。

当日は、日本オリンピック委員会が主催する「オリンピックデー・フエスタ in 石巻」も同時開催され、ロンドン五

関口助教が論文賞

◆日本計画行政学会◆



経営学部の関口駿輔助教(専門は経済学)は、日本計画行政学会が表彰する学会賞学術賞の論文賞を受賞し、9月6日に開催された第25回授賞式で記念の盾が授与された。写真。

同賞は、学会誌に掲載された1年間の査読付き論文の中で、最も優れた論文に贈られるもので、関口助教は機関誌「計画行政」35巻3号に「歳出と歳入を同時に考慮した最適コンパクト度の推定」を寄稿。その内容が高く評価された。

中村さん(左から2人目)と意見を交わす



東高)の質問に答えながら、自らの経験や人生観などを語った。

なお、中村さんがキャリアを務める報道番組「いま日本は」(BS朝日、毎週土曜日19時54分)で「いしのまきワ

川村講師が参加

登米市産業フェス

10月6日、登米市迫体育館で開催された「第9回登米市産業フェスティバル」に、理工学部情報

電子工学科の川村曉講師が参加した。

このフェスティバルには本学も毎年参加し、先端技術を広く紹介してきた。今回は「石巻専修大学 移動ラボ3DCGモデル操作体験」をテーマに拡張現実(AR)と仮想現実(VR)の体験型デモを出展。特殊センサーを用いて仮想空間内のキャラクターを動かすVRと、動作に反応してカメラ映像に特殊効果がかかるARを展示した。

川村研究室で卒業研究に取り組んでいる3人の学生も協力し、来場者に情報工学の面白さを伝えた。